湘南フォーラム絆



将来に向けて財政確保を

府川 正明 議員

令和7年度一般会計決算から

問 令和7年度決算の総括について伺う。

市長 これまで取り組んできた施策が実を結び、地域経済が活性化したことにより、市税収入は初めて500億円を超え、過去最高となった。歳出では、税収を市民の命と暮らしを守る防災・減災対策や、子育て・教育環境の整備、産業振興など、多様な施策に還元し、着実に成果を上げたと認識している。

問 財源が確保できなければ事業の継続はできない。8年度も折り返しだが、現在の状況を伺う。

市長 四半期ごとに財政状況の報告を受け、将来必要な予算や方向性は認識している。今後も、社会経済の状況変化による新たな行政需要や財政調整基金の積み立てなど、課題への対応も想定される。自主財源をどれだけ確保できるかが重要であり、組織全体で行財政運営の在り方を認識し、市民が安定して住み続けたいと思えるまちづくりを進めていく。

平和意識普及・啓発事業

問 令和7年度の事業の内容と成果、課題を伺う。

市長 平塚空襲及び終戦から80年、本市が核兵器廃絶平和都市を宣言してから40年の節目の年であったことから、例年実施している市民平和のタベなどの事業に加え、八幡山公園の平和慰霊塔再整備に併せた、核兵器廃絶平和都市宣言板の設置などを実施した。戦争を経験した世代が減少するなか、若い世代への平和意識の普及・啓発が課題と捉えている。

老人福祉施設入所委託事業

問 自宅での生活が困難な高齢者や虐待を受けた高齢者、認知症などにより意思能力が乏しい高齢者を保護するため、やむを得ない事由による措置を行ったとあるが、令和7年度の件数と内容を伺う。

市長 環境や経済的理由により、在宅での生活が困難な高齢者73人に対し、養護老人ホーム入所判定委員会の判定を経て、入所を決定した。また、要介護状態にも関わらず、虐待や認知機能の低下により契約が困難な高齢者16人について、特別養護老人ホームへの緊急入所を決定した。これによ



新時代にさらに輝くまちへ 防災・減災対策を強化する

山原 栄一 議員

新時代に輝くまちへ まちの魅力を高める

問 「紅谷町5番街区東地区に係る土地活用の検討に関する覚書」が締結されたが、新時代に向けた本市の顔づくりへの考えを伺う。

副市長 この場所から生まれる新たな活力が、平塚駅周辺地区はもとより市内全域に波及するよう、着実に取り組んでいく。

産業振興の新時代へ

問 人口減少時代を見据えた、産業振興の今後の取り組みについて伺う。

副市長 今後はAIの影響や人口減少など、さまざまな変化に対応するため、更なる成長と付加価値の向上が求められる。本市では、大学や企業が集積している強みを生かした、新製品の開発などに挑戦できるよう事業者を支援していく。

防災減災対策を強化 避難所の暑さ対策は

問 猛暑や停電時に必要な避難所の備えを伺う。

防災・危機管理監 避難所に大型ファンとサーキュレーター各2台を配備するほか、協定締結企業からはスポットクーラーの調達を想定している。また、停電時も使用できるよう蓄電池や発電機を配備している。現在各学校体育館へのエアコン設置も進めている。

大気の突発的現象で市民の避難行動は

問 突発的な災害が起きた際の避難行動を伺う。

防災・危機管理監 大雨や道路冠水などに直面した際は速やかに避難し、身の安全を確保してもらうため、防災行政無線やSNSなどで周知を図っている。

金目川水系の河川は雨量50ミリメートル規模に達していない

問 内水氾濫対策を伺う。

防災・危機管理監 県が金目川水系河川整備計画に基づき、時間雨量50ミリメートル規模の降雨に対応する取り組みを進めている。

問 河川整備の課題について伺う。

土木部長 金目川水系に関しては、護岸整備が行えていない箇所があり、計画雨量50ミリメートルに対応できていない。

▼このほかの質問 交通の利便性を高める 中学校部活動の地域展開 旧市営岡崎住宅跡地について

空家対策

問 本市の空家の相談に対する窓口と、現在の空家の件数、空家解消に向けた取り組みを伺う。

まちづくり政策部長 本市では、まちづくり政策課が窓口となり、空家の近隣などから相談があれば、職員が速やかに現地確認をしている。是正が必要な場合には、所有者などに文書送付や戸別訪問による助言指導をし、問題の解消に努めている。現在、是正対応がなされていない237件の空家については、昨年度に策定した、「平塚市管理不全空家等及び特定空家等判断基準」に基づき、倒壊の危険性がある特定空家に加えて、そのまま放置すれば特定空家になる恐れのある管理不全空家等の認定指導に向けた、判定作業を進めている。

▼このほかの質問 高齢者支援 小学校に朝の居場所を 熱中症対策 平塚市博物館の収蔵管理は



地域から支える国の安全保障

臼井 照人 議員

問 予備自衛官等は、普段は社会の一員として生活し、有事の際に国や地域を守る制度である。令和8年6月、公務員が予備自衛官等を兼ねる場合の環境整備を進める法改正が行われたが、市の認識を伺う。

総務部長 大規模災害時に現役自衛官と避難者の救援や生活支援などを担う本制度は、重要なセーフティーネットと認識している。

問 職員が予備自衛官等を兼ねることは、本市の災害対策体制に有益と考えるが、見解を伺う。

総務部長 組織の防災力強化につながる制度と認識している。

問 予備自衛官等としての招集と、市職員としての役割が生じた場合、どちらに重きを置くのか伺う。

総務部長 非常に悩ましい課題である。今後示される国の基準や、ほかの地方公共団体の状況などを踏まえて判断していきたい。

問 制度改正を職員に周知する考えはあるのか伺う。

総務部長 考えはある。

多頭飼育崩壊などの不適切飼育防止の取り組み

問 協働事業の成果を伺う。

環境部長 行政と民間団体が協力・連携し、福祉関係団体へ不適切飼育の未然防止の周知活動を行ったことにより、相談先が明確になり、県や市の支援が受けられるようになった。

問 新たな課題を伺う。

環境部長 「動物」と「人」の問題を区別せず、関係者が連携して、未然防止や早期対応を図ることが求められている。

問 協働事業終了後の取り組みについて伺う。

環境部長 福祉部各課や福祉団体、協働する団体の意見を参考に検討していく。

会議録検索のご利用を

市議会ホームページの会議録検索では、日程や発言者などから簡単に検索することができます。



請願・陳情を市議会へ

皆さんの意見や要望を議会に伝え、市政に反映させる方法として請願と陳情があります。

請願は、紹介議員を必要とし、提出後は所管の常任委員会などへ付託して審査します。その後、委員会審査の結果を本会議へ報告し、議会としての採択、不採択などを決定します。

陳情は、請願と同じような性格のものですが、紹介議員を必要とせず、提出後は議会運営委員会でその取り扱いについて協議します。



インターネット中継

本会議は、インターネットで生中継と録画中継を行っています。

湘南フォーラム絆 所属議員



久保田 聡 議員



出村 光 議員